

# 2021年度 メリー★ポピンス 東神奈川ルーム 事業計画書

## 1 基本方針

- ・『にんげん力』を身につける為に、遊びや野外体験の中で経験を重ね、自分で考え行動する力を育む。
- ・子どもが自発的・意欲的に関わることのできる環境を構成し、主体的な活動や子ども同士の関わり合いを尊重する。
- ・自分のしたいことを満足するまでやり、思いを表出し、それを受け止めてもらうことのできる環境を構成し、一人ひとりが安心して生活できる場となる。

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- ・子どものありのままを認め、発達を保証し、育ちを援助していく。
- ・応答的な関わりを大切に、安心できる環境の中で、思いを受け止めながら相手の思いに気づき、育ちあえるようする。
- ・異年齢保育の中では年下児への思いやりの気持ちや、年上児への憧れの気持ちを感じたり、関わり合ったりする中で、子ども同士を繋ぎ、互いに育ち合える環境を構成する。
- ・日々の保育や生活の中で子どもの姿を継続して記録し、ドキュメンテーションや保育WEBを活用しながら、生活や遊びの連続性を考慮した立案へと繋げていく。又、計画を振り返り次の計画へと繋げることで、長期的な見通しを持ちながら保育を進めていく。

### 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

- ・子どもを中心に、子ども一人ひとりの良さや課題を共有し、保護者の気持ちを受け止めたり、傾聴したりする中で、育児相談や子育ての負担軽減の支援ができる場となる。又、家庭と連携していく事で、子どもの育ちを共に喜び合う共育での関係を築いていく。
- ・タイムラインや連絡帳といった日々の様子だけでなく、園での生活や遊び、その中での成長がわかるような掲示や取り組みを継続して行う。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

園見学や園庭開放、青空保育では園児との交流を深め、家庭でもできる遊びや生活の中での工夫を紹介する。

保育園を身近に感じ、気軽に育児相談ができる育児支援の場へと繋げていく。

### 〈4〉 次世代を担う職員育成

- ・子どもとの関わり方を自ら考え、振り返り、一人ひとりが保育のプロとしての意識を高めた

がら子どもと向き合い、子どもの心に寄り添える保育者となる。

- ・人間としての資質を高められるようにし、積極的に情報共有・意見交換を行なう。
- ・得意分野、専門分野で力を発揮し、互いを認め協力し合い、学び合うチームとなる。
- ・一人ひとりが園の顔としての意識を持つ為に、マニュアルや内部監査項目の理解を深め、園運営に携わっていかれるようになる。

### 〈5〉 子どもが主体の保育

- ・一人ひとりの子どもが安心して、好きな場所で自分のしたい事を選び、満足するまで取り組める環境を構成する。
- ・友達と関わり合い過ごす中で、一緒に活動する楽しさを味わい、共同して遊びを展開していく経験を通し、仲間意識を高められるようにしていく。
- ・保育者も環境を通して学び、人的環境として子どもの気持ちに寄り添い、子ども自身で体験を積み重ねる中で自発性と主体性を育めるよう、保育計画や実践を通し、振り返り、見返ししながら学びを深める。

### 〈6〉 気持ちのよい環境

整理整頓を常に心がけ、誰が見ても気持ちの良い環境を維持し、遊び込める空間づくりと必要なもの（玩具・楽器・画材・素材体操器具）しかない保育室を目指していく。職員一人ひとりが子どもにとって必要な環境を考え、具体案を出し合い検討を重ねながら、興味や発達に合った玩具の用意、自由に行き来できる室内環境を作り続けていく。又、整理整頓を心がけることで子どもにも気持ちの良い環境で過ごすことの心地よさを経験の中で伝えていく。

## 2 児童定員

1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
7人	7人	7人	7人	7人	35人

## 3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

## 4 職員配置

常勤職員	7人	保育士	6人	調理員	1人				
パート職員	3人	保育士	3人						

## 5 運営方針

### 〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	園内研修、月目標の反省・討議、行事について検討
給食運営会議	月1回	献立の振り返り、食育活動の立案・検討他
ケース会議	月1回	子どもの状況と配慮について、支援機関との連携
保健・安全会議	月1回	自園・他園の事故共有と分析、事故記録簿・インシデント・ヒヤリハット分析 感染症についての知識共有、感染症予防策検討他
クラス会議	週1回	子どもの日々の様子、月案・週日案の立案 発達・興味関心に合わせた環境構成

### -2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	運営事項確認、事務連絡（書類関係他）
施設長勉強会	月1回	各園の課題を共有しながら、自園・課内、法人内のスキルアップを図る
食育会議	年4回	給食・食育活動の各園の取り組みや情報共有
保健会議	年4回	各園の取り組み共有、感染予防の共有他

### 〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内清掃、衛生管理、備品管理
安全対策係	避難訓練、不審者訓練、不審者など情報の掲示
防火管理者	消防計画を作成し、これに基づく消火・通報及び避難訓練の定期実施
食品衛生責任者	食育会議への参加 給食運営会議の計画や実施 食品の安全管理
畑係	年間の畑・プランター計画 子どもと共に行う作業計画
生き物係	飼育物全般の管理

### 〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	立案・進行他
行事係	立案・進行他

## 6 保育方針

### 〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>● 特定の保育者との関わりの中で信頼関係を築き、受容されることで安心して、心地よい生活がおくれるようにする。</li><li>● 一人ひとりの子どもの様子や発達過程などを把握し、子どもの欲求を満たしながら応答的な関わりや言葉がけを行う。</li></ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>● 受容的・応答的な関わりを通じて、自己肯定感が育まれるよう努めていく。</li><li>● 身近な環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味・関心を持ち、主体的に関われるようにする。</li></ul>
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>● 一人ひとりの姿をよく見て捉え、興味関心を持ったことに主体的に関わり、発見を楽しんだり、考えたり、満足いくまで遊び込める環境を設定する。</li><li>● 異年齢で過ごす中で、自分で活動を選択したり、友達と関わりを持ったりしながら、じっくりと遊び込めるようにする。</li></ul>
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"><li>● 友達との関わりの中で相手の気持ちを理解し、折り合いを付けられるようになる。</li><li>● 友達と一緒に活動する楽しさを味わい、共同して遊びを展開していく経験を通して、仲間意識を高められるようにしていく。</li><li>● 生活の流れに見通しを持ち遊びや生活を進めていく中で、場面に応じた行動や、善悪を判断しながら行動できるようにしていく。</li><li>● 生活の中で感じた事や考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養う。</li></ul>
保育参加	4～3月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく</li></ul>
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"><li>● 随時、希望する保護者に対し実施</li><li>● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用</li></ul>
意見・要望 への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"><li>● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用</li></ul>
運営委員会	年2回	<ul style="list-style-type: none"><li>● 6月11日と11月12日に実施予定</li></ul>

### 〈2〉 年間行事計画

- ・ 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

### 〈3〉 給食・食育運営方針

- ・ どんご会の食育方針
  - (1) 調理員・保育士・施設長は子どもと一緒に食べる
  - (2) 噛む力を育て、素材の味を味わえる状態で提供

(3) 子どもが自分たちで盛付・配膳して食べる

- ・身近な大人や友だちと心を通わせながら、共に食べることを楽しむ。
- ・畑仕事を通して、自然を身近に感じながら、野菜の生長や旬の野菜を知る。又、収穫を楽しむにしながら、食に興味や関心を持つ。
- ・季節の食材や日本の伝統行事を知り、伝統文化に興味や関心を持つ。
- ・調理の手伝いなどを行い様々な食品を見たり、触れたりする。
- ・子どもが自分で盛り付ける、食べる量を決めることで食べる意欲を育む。

#### 〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・12月）
歯科検診	年2回（6月・12月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い、うがいの徹底、水分補給、歯みがき指導、休息の取り方
流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 1日2回の玩具・室内消毒と換気の徹底をする。 6～8頃...手足口病、アデノウイルス 12～3月頃...インフルエンザ・感染性胃腸炎（ノロウイルス他） 11～3月頃...ロタウイルス
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	ダイアアップ・・・預かりなし エピペン・・・1名より預かり済み／事務室にて保管
エピペン使用できる職員	本日現在11名が、研修受講し、習得済み。
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

#### 〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前

	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉 環境整備

- ・「自分で考え、自分で行動する」「自ら行動する力を育てるとともに、他の子どもと試行錯誤しながら活動を展開する」を基本とし、室内・室外ともに子どもが自発的に関わる環境を設定行う。
- ・子どもの興味関心や発達を考えた環境構成を具体的に話し合い、定期的に振り返りをし、子どもが自分自身で選択できる環境となるよう継続して改善していく。
- ・畑仕事や戸外活動では栽培の充実化を図り、自然に関わりながら過ごせる環境を増やしていく。
- ・室内外において、リスクマップを元に定期的にハザードの見直ししながら安全配慮に努めていく。

## 7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

法人のマニュアルを基本とする

- ① 消防計画に基づき、自衛消防隊の編成をし、年間避難訓練に沿って消火訓練・避難訓練を行う。年2回通報訓練と保護者と連携した児童引き取り訓練を行い、非常時はアプリを利用し、保護へ情報発信を行う通知訓練も合わせて行う。
- ② 園内に事故防止委員会を設置し、ヒヤリハットやインシデントを活用、再発防止と共に危機管理・危険予測し、事故を未然に防ぐよう努める。又、年度初めにリスクマップを活用し園内外のハザードの見直しを定期的に行い、ハザードマップの作成・共有をする。作成したものは定期的に見直しをし、子どもの姿や活動に沿った物であるようにする。
- ③ 年2回の不審者侵入訓練を実施し、安全・防犯への意識づけをしていく。
- ④ 光化学スモッグの発生しやすい状況を把握し、発令があった時は速やかに対応、室内で過ごし健康状態の確認を行う。
- ⑤ 救命救急講習の実施（年1回）消防職員による講習、看護師によるエピペン講習を行う。
- ⑥ 年4回の事故防止チェック、2か月毎の設備点検チェックを行う。
- ⑦ 投薬ルールの運用

## 8 実習生・中高生の受入

- ・保育、福祉の現場で次世代を担う人材の育成とし積極的に実習生の受け入れを行う。子どもと関わり触れ合う中で様々な経験を通し、子ども理解を深めていかれるようにする。又、保育者は初心に戻り自身の保育を見直し、保育のプロとして子どもとの向き合い方や対応について考える機会とする。
- ・近隣の養成校への訪問を行ない、地域交流や世代間交流の一環とし、交流を深めると共に、プロとして子どもと関わる中で、保育の仕事の素晴らしさを次世代へ伝えていく。
- ・中高生の受け入れは、地域に根付く保育園として地域交流の場を兼ね積極的に行う。小さい子どもと触れ合う機会の少ない学生に対しては、学校と連携し安心して体験し、子どもとの関わりや触れ合いに喜びを持てる機会になるようにする。

## 9 職員育成と研修計画

### 新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修  
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え  
対応研修

### 新人社員研修

- 新人社員研修  
→ 会場研修
- 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

### スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)  
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

### ① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月16日 (金)	18:00~20:00	① コンピテンシー1 ② 子ども理解・危機管理	新入園児の情報共有と理解 リスクマップを見ながら園内外のハザードの洗い出し・認識共有 マニュアルの読み込み (アレルギー除去食対応・与薬・保健衛生)
5月21日 (金)	18:00~20:00	① コンピテンシー1 ② エビペン講習 ③ 子ども理解	エビペン講習 子どもの姿からの立案 前月の研修と一月の保育を振り返り、ハザード再確認と衛生管理・水遊び時注意事項の確認
6月18日 (金)	18:00~20:00	① コンピテンシー2 ② 保育WEB	保育WEBテーマ『夏の遊び』 WEBからの立案、環境構成、安全配慮事項の確認

		③ 保健	熱中症予防・夏の過ごし方/保健マニュアルの確認
7月16日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1.2 ② 上期の振り返りと環境の見直し	記録（ドキュメンテーションや日誌、個別記録等）を振り返り、子どもが自発的・意欲的に関わり、主体的に活動できる環境、子どもの発達に合わせた環境への見直し
8月20日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1.2 ② 子ども理解	集団での生活や関わりが難しい子、個別支援を必要とする子の対応について学ぶ（つむぎ横浜東口と合同研修）
9月17日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1 ② 防災	上期の避難訓練の振り返りと避難場所・設備備品の確認/防災マニュアルの読み込み ・前月の学びから自園でのケース会議の進め方についての検討・支援への変化について
10月15日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1 ② 子ども理解	10の姿にあてはめて子どもの成長を追う 各クラスの下期のねらいの共有
11月19日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1 ② 子ども理解	現在の子どもの姿に合わせたリスクマップを各自作成し、ハザードの見直し、更新 どんなねらいを持ち、活動を考えるのか
12月17日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1 ② 子ども理解	保育の振り返り 応答的な関わり、子どもが主体の保育がどこまでできているのか
1月21日（金）	18:00～20:00	① コンピテンシー1.2 ② 年間の振り返り・次年度に向けて	記録（ドキュメンテーションや日誌、個別記録等）を振り返り、次年度に向けて計画・保育の見直し
2月19日（金）	18:00～20:00	年間策定会議①	生活や遊びの連続性～次年度にどう繋げていくのか 具体的計画の作成
3月18（金）	18:00～20:00	年間策定会議②	生活や遊びの連続性～次年度にどう繋げていくのか 具体的計画の作成

## ② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
4/27（火）	19:00～21:00	社会人としての基本マナー・接遇	渋谷本社	0円	0円
5/25（火）	19:00～21:00	DIYの遊具の実践的活用と安全点検	中目黒どろんこ 保育園	0円	0円
6/8（火）	19:00～21:00	子どもの力を引き出す保育の境界線 ～あなたは信じて待っていますか？～	前原どろんこ保 育園	0円	0円
7/27（火）	19:00～21:00	親子関係の発達と食行動の発達 食を通して形づくられる愛着関係とは	東寺尾どろんこ 保育園	0円	0円



8/24 (火)	19:00～21:00	自我の発達と食行動の発達 楽しく食べる食育で「心」「自己肯定感」「生きる力を育てる」	東寺尾どろんこ 保育園	0円	0円
9/28 (火)	19:00～21:00	保育園で大切なマネジメントとは？ ～キャリアアップ研修から～	鶴見どろんこ保 育園 新羽どろんこ保 育園	0円	0円
10/26(火)	19:00～21:00	食育の奥深さ「”食”には一つ一つに意味がある」	郡山どろんこ保 育園 駒沢どろんこ保 育園	0円	0円
11/25(火)	19:00～21:00	さくらさくらんぼリズム	子ども発達支援 センターつむぎ 浦和美園	0円	0円
12/14(火)	19:00～21:00	園庭の無い保育園での火・水・土の挑戦	駒沢どろんこ保 育園	0円	0円
1/13(木)	19:00～21:00	併設園での挑戦	つむぎ新羽ルー ム つむぎ八山田ルー ム	0円	0円

### ③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

### ④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（ 保育の質会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた11名の職員が出席予定											
リーダー養成研 修	選ばれた職員が参加予定											
デモンstration	希望する職員が応募											

### ⑤ 職員個人別育成計画

- ・施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。
- ・興味関心のあることや学びたいことを法人内部、外部の研修で学び・園内で共有しながら実践していかれるよう、年間で目標を立て実践、振り返りをしながら個々のスキル向上を図る。

## 10 地域交流計画

近隣の小学校や保育園との情報交換や連携を継続し、地域の方との交流や情報共有をWEBや掲示など形を変えながら続けていく。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：反町公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	高齢者施設の定期訪問や公園、公共の場での触れ合い・関わり合い
異年齢交流	幼保小接続の中での小学校との連携、中学生による園訪問の地域ボランティア活動、近隣保育園との交流、保育士養成校の学生による訪問と交流
地域拠点活動	子育て支援事業『ちきんえつぐ』、園庭開放、青空保育、地域イベントや子育て支援拠点（かなーちえ・プレイパーク）でのイベント参加
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

## 11 小学校との連携の計画

以下計画について、小学校と相談・協議を近隣小学校と4月より開始する。

『5歳児と1年生の年間連携計画』を作成。学校行事や授業参観等を通して、『職員間交流』と『子ども間交流』の両者を取り入れていく。

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名（会場）	内容
10月頃	幸ヶ谷小学校 1年	7名予定	学校見学	子ども間交流
11月頃	幸ヶ谷小学校 1年	7名予定	授業参観（幸ヶ谷小教室）	職員間交流
2月頃	幸ヶ谷小学校 1年	7名予定	学校訪問（幸ヶ谷小学校）	子ども間交流
2月頃	白幡小学校	2名予定	就学前引継ぎ	職員間交流

## 12 要支援児計画

### 【個別支援計画の作成・見直し】

子どもの状況や発達を理解し、ケース会議の中で共有・振り返りを行い、週案・月案の作成時及び個々の変化や成長に合わせ都度見直しを行う。

【毎月のケース会議開催】4～3月に計12回開催予定 参加者：11名予定

- ・園会議、昼礼、クラス会議などを利用し、個々の様子を共有しながら理解を深めていく。
- ・配慮の必要な子だけでなく、気になる子や成長・発達の過程で配慮を必要とする子についても共有し、一人ひとりに合わせた対応へと繋げていく。
- ・定期的につむぎと合同研修の機会を持ちながら、集団の中での関わり方や支援の手立てを学

んでいく。

【進級引継、および、小学校への引継】

- ・進学する小学校、必要に応じ関連機関と連携しながら、児童要録・面談や電話での詳細伝達を行う。
- ・進級児は職員間で情報の共有をする。

### 13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

子育て相談	(月)～(土) 9:30～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎月1,3水曜 10:00～12:00
どろんこ芸術学校	毎月第2月曜 10:00～12:00
どろんこ自然学校	毎月第1月曜 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	毎月第一金曜 公園名:反町公園にて開催

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって開催の有無、日時の変更の可能性有り

### 14 福祉サービス第三者評価の受審

2017年度2月9日・10日に実施済み。事業者と利用者の評価機関定めた評価項目に基づき提供している保育やサービスの質を客観的な立場から総合的な評価を実施。公表された結果に基づきより良い運営と改善に取り組んでいる。

### 15 園による自己評価の実施

2022年3月11日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻: 16時00分

自己評価終了予定時刻: 18時00分

自己評価実施予定者: 施設長、主任、保育士代表1名

## 16 メリー★ポピンズ 東神奈川ルーム3か年計画の具体化

子どもの最善の利益が保障される場=保育園である為に、子ども一人ひとりが安心して生活ができる場となる。自分のしたいことを満足するまでやり、思いを発し、それを受け止めてもらう事のできる環境を作る。

### 2021年度

- ・自分で考え、選択し行動する力を育めるよう、体験を積み重ねる中で主体的に過ごせる環境を構成する。
- ・生活や遊びの中での連続性を大切にし、発達を学び、子どもの育ちを保証する。
- ・保育者も自分の好きな事、したい事、得意とする事を出し合い環境の見直しや具体的な役割分担をし、主体的に取り組む。

### 2022年度

- ・子どもと関わり学び合う中で、子どもを真ん中にした保育とはなにかを考え、子どもの気持ちに寄り添う応答的な関わりを大切にしたい保育を行う。
- ・異年齢で過ごす中で憧れや思いやる気持ちを育み、見て・真似て・やってみようとする子どもの気持ちを汲み取り、意欲を引き出していく。

### 2023年度

- ・子どもの興味関心を知り、気づきを大切にし、保育者主体ではなく、子どもが主の保育、子どもの姿に合わせた計画作成へと繋げていく。
- ・保育園に通う子どもと保護者だけでなく、地域の親子の憩いの場となる為に、園児との交流、施設利用の呼びかけをし、保育内容や子どもの育ちを発信しながら支援拠点の土台を作っていく。

以上